事例No.	3017
公表年度	R6
団体の属性	一般市
団体名	新潟県胎内市

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・専門人材の確保 ・地域運営組織

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

地域力創造アドバイザー活用事例（新潟県胎内市）

出典

地域づくり人材の養成に関する調査研究会（第1回）

外部専門家（地域力創造アドバイザー）制度

地域人材ネット　外部専門家（＝地域力創造アドバイザー）のデータベース（https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html）

都道府県や各省庁等の推薦を受け、地域独自の魅力や価値の向上の取組を支援する民間専門家や先進自治体で活躍している職員（課）を登録

民間専門家（586名）、先進自治体で活躍している職員（30名（2組織を含む））　　（令和6年4月1日現在　計616名・組織）

財政措置

- 対象市町村
  - ①　三大都市圏外の市町村
  - ②　三大都市圏内の市町村のうち、条件不利地域を有する市町村、定住自立圏に取り組む市町村又は人口減少率が高い市町村
- 財政措置の内容

  市町村外在住の外部専門家を**年度内に延べ10日以上又は5回以上招へい**し、地域独自の魅力や価値を向上させる取組を実施した場合に、市町村に対して特別交付税措置をする。

1市町村当たり、右に示す額を上限額として、最大3年間　：　**民間専門家活用（560万円／年）、先進自治体職員（組織）活用（240万円／年）**

アドバイザー活用事例（新潟県胎内市）

- 取組事例

  ワイン製造施設運営事業において、ワインの品質向上等を目的にアドバイザー制度を活用。具体的には、市職員やワイン製造関係者を対象に、年8回に渡り商品開発や醸造に関する指導や助言を受けた。

- 成果・効果

  ワインコンクールでの受賞や業界での評価向上に伴い出荷量が増加するとともに、マーケティングの指導も受けた結果、「胎内高原ワイン」のブランド化にも成功した。



アドバイザー活用事例（北海道栗山町）

- 取組事例

  栗山町地域おこし協力隊起業アドバイザー招へい事業において、カフェバルの開店を目的にアドバイザー制度を活用。具体的には、協力隊の方を対象に、任期終了後に向けて、延べ12日に渡り起業・ビジネスをするための学習会や経営に関する指導や助言を受けた。

- 成果・効果

  飲食業や若者のコミュニティづくりに資する事業を担うことを目標に合同会社を設立。町内駅前通りに活動拠点となるカフェバルをオープンした。

